

**第5期北九州市障害福祉計画・第1期北九州市障害児福祉計画の  
目標等の管理シート**

担当部局	保健福祉局 障害福祉部
------	-------------

**成果目標 (3) 地域生活支援拠点等の整備**

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>○令和2年度末までの目標値</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">地域生活支援拠点等の整備</td> <td style="width: 33%;">1箇所</td> <td colspan="2">地域生活支援拠点又は面的な体制</td> </tr> </table> <p>【目標設定の考え方】 地域生活支援拠点等（地域生活支援拠点又は地域における複数の機関が分担して機能を担う体制（面的な体制））について、令和2年度末までに少なくとも1箇所を整備するという国の指針に基づき、設定</p> <p>○実施状況[各年度3月末現在]</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">R2</td> </tr> <tr> <td>地域生活支援拠点等の整備</td> <td style="text-align: center;">0箇所</td> <td style="text-align: center;">0箇所</td> <td style="text-align: center;">1箇所</td> </tr> </table>			地域生活支援拠点等の整備	1箇所	地域生活支援拠点又は面的な体制			H30	R1	R2	地域生活支援拠点等の整備	0箇所	0箇所	1箇所
	地域生活支援拠点等の整備	1箇所	地域生活支援拠点又は面的な体制													
	H30	R1	R2													
地域生活支援拠点等の整備	0箇所	0箇所	1箇所													
活動指標 (内容)																

評価 (C) ↓ 改善 (A)	H30年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	<p>国が拠点等を整備する時期を第5期障害福祉計画期間中である令和2年度末までと延期したことから、本市でも、北九州市障害者支援計画における整備目標を「令和2年度末までに少なくとも1箇所」に設定しました。</p> <p>平成30年度は、北九州市障害者自立支援協議会において、障害のある人の高齢化や「親亡き後」を見据えて、安心した地域での暮らしのためにも速やかに整備して欲しいとの要望をいただきました。</p> <p>引き続き、北九州市障害者自立支援協議会において、地域課題を踏まえ協議を行うなど、本市拠点整備に向けた検討を行います。</p>
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援拠点の整備を急いで欲しいです。</li> <li>・取り組みを具体化させて欲しいです。</li> </ul>
		改善 (A) 【次年度における取組等】	<p>北九州市障害者自立支援協議会において、拠点等の整備について意見交換を行いました。その際、緊急時の受入先の確保、相談支援事業所との連携、存在する社会資源の有効活用できる仕組み、など必要な要素に関して、意見をいただきました。</p> <p>引き続き、協議会において整備方針が議論できる土台づくりを行うとともに、令和2年度末までの整備に向けて、意見を基にした具体的な作業を進めてまいります。</p>

評価(C) ↓ 改善(A)	R1年度	<b>評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</b>	<p>令和元年度は、北九州市障害者自立支援協議会において、地域生活支援拠点の整備に向けた意見交換を行い、北九州市ではある程度社会資源が備わっているがそれらの結び付きがないこと、また、緊急時の受け入れ先の確保が重要である等の意見をいただきました。</p> <p>これらの意見に基づいて、地域生活支援拠点に求められる機能のうち「地域の体制づくり」と「緊急時の受入機能」の2つの機能から整備できるよう、令和2年度予算の確保を行いました。</p> <p>令和2年度は具体的な整備を進めていきます。</p>
		<b>協議会等意見【評価等に対する意見】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状、市が「緊急時の受入機能」と「地域の体制づくり」の視点から整備を進めているというのは理解したが、一番大切なのは「専門人材の確保と育成」ではないかと思う。</li> <li>・ 施設にこだわらずとも、地域の人材を生かして色んな支援の手を差し伸べることも重要だと思う。</li> <li>・ 専門的な人材の育成については、様々な方が専門的な知識を以てアウトリーチしていくようになったら良いと思う。障害のある人の家庭を孤立させない視点が必要と思う。</li> </ul>
		<b>改善(A) 【次年度における取組等】</b>	<p>拠点等に求められる機能のうち未整備となっている「専門人材の確保・養成」、「体験の機会・場」や「相談」の整備に当たっては、既存の社会資源を活用してそれらを効果的につなぐことを中心に進めているところです。</p> <p>地域の人材の活用、様々な職種によるアウトリーチなど、いただいたご意見を参考に、障害のある人の家庭を孤立させない視点を持って、自立支援協議会で議論を深めながら、整備を進めてまいります。</p>
評価(C) ↓ 改善(A)	R2年度	<b>評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】</b>	<p>「地域の体制づくり」として、コーディネーターを1人、基幹相談支援センターに令和2年4月から配置しました。</p> <p>「緊急時の受入機能」として、緊急時に受入れを行うことのできる事業所を整備し令和2年6月から運用を開始しました。</p> <p>地域生活支援拠点等の体制については、引き続き、北九州市障害者自立支援協議会において、運用状況等を検証するとともに、必要な機能の強化、拡充に向けた検討を進めてまいります。</p>
		<b>協議会等意見【評価等に対する意見】</b>	<p>特になし</p>
		<b>改善(A) 【次年度における取組等】</b>	<p>拠点等の機能のうち、「相談」「緊急時の受け入れ・対応」「体験の機会・場」について、既存の社会資源を活用して整備し、モデル的に運用するための検討を進めてまいります。</p> <p>引き続き、拠点等の機能・充実の強化を図るために、北九州市障害者自立支援協議会において議論を重ねてまいります。</p>